

Press Release

エフピコ・万代

「エコ製品」の積極的な使用で「ストア to ストア」の協働を強化

～2027年 2 月期に CO2 排出削減「年間 2,400t」を目標～

株式会社 万代 代表取締役社長：阿部 秀行、以下「万代」）と株式会社エフピコ（代表取締役会長：佐藤 守正、以下「エフピコ」）は、関西エリア 170 店舗（2026 年 1 月末時点）を対象に、店頭で回収された使用済み食品トレーを新たな食品トレーに生まれ変わらせ、再び店頭で「エコ製品」※1 を積極的に使用する「ストア to ストア」の水平リサイクル※2 の取り組みを強化いたします。



●ストア to ストアの流れ



本取り組みについて

万代とエフピコは、『お店がその地域のエコリーダー』となることを目指し、地域の皆さまに使用済み食品トレーを万代店舗にお持ちいただき、店頭に設置している回収ボックスにて回収を実施しております。回収した使用済み食品トレーを、エフピコがエコ製品へと生まれ変わらせ、このエコ製品を再び万代の売り場で使用することで、お店を発着点とする「ストア to ストア」の水平リサイクルを実現しております。

万代では、2025 年 2 月期において使用済み食品トレー を 483 t 回収し、回収資源から再生されたエコ製品を売り場で使用することによって、2,176 t の CO2 排出量を抑制いたしました。

2026 年 2 月期においては、使用済み食品トレーを約 500 t 回収し、回収資源から再生されたエコ製品を売り場で使用することによって、約 2,300 t の CO2 排出量を抑制できる見込みです。 ※3

＜報道関係者からの質問・取材のご依頼は下記へお願いいたします＞

株式会社 万代 広報 IR 室 TEL:06-6789-0511 大阪府東大阪市長堂 3 丁目 4-24 万代 RH ビル 6 階

この度の協働体制強化に伴い、万代 はエコ製品をさらに積極的に使用することで、2027 年 2 月期において、『年間 2,400 t』の CO2 排出量抑制を目標に取り組みを行ってまいります。

また、万代は地域のお客様のリサイクルへの参加を促すため、店頭でのリサイクル啓発ポスターや、ホームページ内での情報発信など積極的な P R 活動を行い、使用済み食品トレーの回収量増加を図ります。



※1 回収された資源を原料とする「エコトレー」、「エコ APET」、「エコ OPET」

※2 リサイクルの前後で用途を変えずに資源を循環させるリサイクル方法

※3 2026 年 2 月期の CO2 排出量抑制数値は、2025 年 2 月期の実績を元に見込みとして算出

【ご参考】

<株式会社エフピコ>

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレー to トレー」「ボトル to 透明容器」による地上資源の循環、及び CO2 排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地：〒 163 - 6036 東京都新宿区西新宿 6 丁目 8 番 1 号新宿オークタワー 36 階

代表者：代表取締役会長 佐藤 守正／代表取締役社長 安田 和之

設立：1962 年 7 月

H P : <https://www.fpc.jp/>

<株式会社 万代>

関西を中心に 170 店舗を展開する食品を主体としたスーパーマーケットチェーンです。万代は日本一買い物に行きたい店舗を目指して、お客様の「満足」と「感動」を獲得するために改革と進化に努め、全社員、全スタッフが一丸となって豊かで楽しい「食生活」「暮らし」の創造と提案を繰り返してまいります。

所在地：〒 577 8543 大阪府東大阪市洪川町 3 丁目 9 番 25 号

代表者：代表取締役社長 阿部 秀行

設立：1962 年 5 月

H P : <https://www.mandai.net.co.jp/>

＜報道関係者からの質問・取材のご依頼は下記へお願いいたします＞

株式会社 万代 広報 IR 室 TEL:06-6789-0511 大阪府東大阪市長堂 3 丁目 4-24 万代 RH ビル 6 階